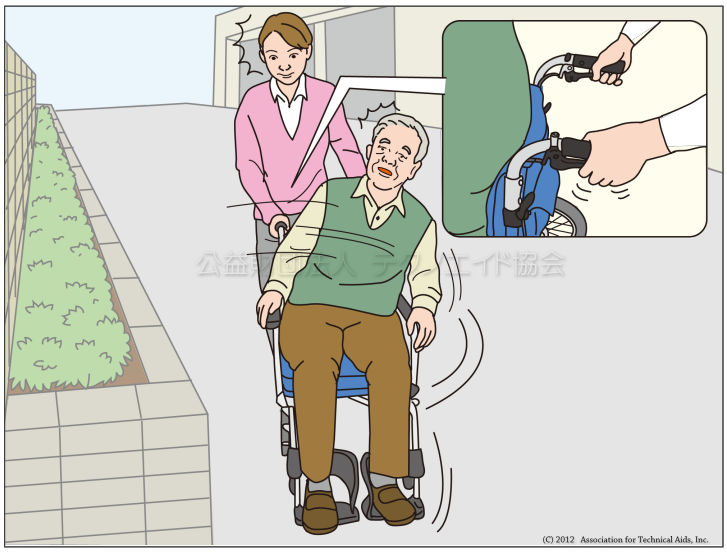
Case：146

ブレーキの効きが左右で違い、車いすが回転して投げ出されそうになる

場面の説明

左右同時にブレーキをかけたが、左側のブレーキが効いておらず、車体が右に回転してしまった



利用シーン	移動 外出
主な利用場所	坂道
介護保険の種目	車いす
分類コード (CCTA95)	122103 (介助用車いす)
介護テクノロジー	ー
二次元バーコード	

解説

多くの車いすは左右別々のブレーキを備えており、まっすぐに止まるには左右を均等に握ることが基本です。しかし、ブレーキの調整がきちんとされていない場合は、この事例のようにブレーキ操作が進行方向を乱してしまうことがあります。ブレーキはタイヤの空気圧も影響し、日ごろのメンテナンスが重要です。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

人：左右違う力でブレーキをかけた
人：不具合に気づいていたがブレーキ調整ができなかった
環境：傾斜がついている場所だった
管理：定期メンテナンスをしていなかった

作成：公益財団法人テクノエイド協会
Copyright 2026 Association for Technical Aids, Inc. All Rights reserved.